

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月17日更新

事務事業名	第三セクター見直し事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	産業振興部	課長名 古庄 一也
	施策	24	行財政改革の推進		所属課	商工振興課	担当者名 末永 潔
	基本事業	90	公有財産の管理運営		所属班	商工・企業誘致班	(内線) 1271
予算科目	会計一般	款	項	目	事業連番	法令根拠	合志市集中改革プラン 成果優先度評価結果 : ⑨ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景、きっかけ、今後の状況変化を含む)	平成18年12月制定の「合志市集中改革プラン」に基づき、市の第三セクターである「株にしごうし」の必要性や妥当性を検討する。(※合志市は5,000万円の出資者であり指導監督の立場にある)合志市となり、行財政改革の一環として「合志市集中改革プラン」制定や国総務省の指導に伴い、三セクの見直し事業事務が発生した。西合志町時代から業務報告を定期的に受け、経営状態を把握し指導を行ってきた。平成15年12月付け総務省の「第三セクターに関する指針の改定について」や平成18年付け総務省の「地方公共団体における行政改革の更なる推進のための指針」が制定され、より一層の第三セクターの経営健全化の指導が必要となっている。平成19年11月 三セク見直し庁内検討会を設置し、また、施設に係る予算要求を初めて議会において協議が行われた。平成20年度には市議会全員協議会に次回更新の基本方針等の報告を3回実施した。
【業務の流れ】	・三セク見直し等庁内検討会の開催・市担当部所(財政課・商工振興課)と株にしごうし取締役会との間で三セク運営形態等についての協議を行う事務を担当している。市としては大株主として組織の存続並びに市財政悪化を防止するため指導監督を行う
【主な予算費目】	予算措置なし
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	市議会から、第三セクター(株)にしごうしの経営形態への情報公開の要望があがっていた。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分: 23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 前年同様に会議を開催し、会社運営や具体的改善事項について審議する
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由 → ア! 会議数 回
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 株式会社 にしごうし市出資金	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) → ア! 株にしごうしの経常利益 千円 イ! 市出資金の現在高 千円
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 株にしごうしの安定経営を確保する安定した経営を行うことで市出資金を確保できる	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) → ア! 当年度経常利益高/前年度経常利益高 % イ! 当年度市出資金残高/前年度市出資金残高 %
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 指定管理協定書に基づいて定期的な会議を開催する	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
① 活動指標	ア	回	5	3	8	3	5	0	0
	イ								
	ア	千円	2,310	3,056	2,095	5,386	6,294	7,843	8,398
② 対象指標	イ	千円	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
	ア	%	0	132	69	176	117	125	107
③ 成果指標	イ	%	0	100	100	100	100	100	100
投資入費量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円						
人件費	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	4	4	3	6	3	3	3
トータルコスト(A)+(B)	延べ業務時間	時間	3,282	145	500	420	500	60	60
	(B)人件費計	千円	13,128	577	1,990	1,730	2,060	247	247
トータルコスト(A)+(B)		千円	13,128	577	1,990	1,730	2,060	247	247

総トータルコスト  
全体計画  
~ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	第三セクター見直し事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価の部（SEE）

\*原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 取締役会での会議内容や、(株)にしごうしからの要望、年次計画等について審議し、助言や指導を行うことで目標達成の見込みあり
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 会社法をはじめ行政では一般的に取り扱わない専門知識が必要となり、単独課の対応では無理をしている状況があり、関係職員数名でプロジェクトを組織することにより今まで以上の成果が望める。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業はない
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費無し
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 プロジェクト化した組織で対応することにより、より一層の効率的な事業が展開できる
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市が出資した第三セクターが対象であるので、公平公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市が出資した第三セクターが対象であるので、役割分担は適正である

## 3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点を記入

見直し検討委員会での審議事項を、(株)にしごうしへ通達することで、会社の運営・経営の改善等に貢献できた。反省点なし

## 4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

<p>(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（有効性改善）  <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（公平性改善）  <input checked="" type="checkbox"/>現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策</p>																						